

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	〈専〉京都建築大学校
設置者名	学校法人 二本松学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	建築科	夜・通信	1260時間	160時間	
	建築学科	夜・通信	690時間	320時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kasd.ac.jp/shien/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	〈専〉 京都建築大学校
設置者名	学校法人 二本松学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

二本松学院ホームページ https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大阪工業大学短期大学 部客員教授	平成 30. 11.14 ~ 令和 4. 11.13	学院全体の業務及 び財務全般
非常勤	(株)藤原測量設計事務所 代表取締役	平成 30. 11.14 ~ 令和 4. 11.13	学院全体の業務及 び財務全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	〈専〉京都建築大専校
設置者名	学校法人 二本松学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成については、前年度末より各科目の主担当の教員が原案を作り、教務部内で審査し作成している。公表は年度始めに行う。年2回行われる教育課程編成委員会でも業界に精通している委員を交えて見直しを行っている。開講している授業科目については、そのシラバスにて授業形態(講義・実習など)、到達目標、各回の授業内容、成績評価の方法などをまとめて刊行物の形で公表している。またシラバスとは別に、学科ごとに年度始めに学生全員に配布する学生要覧においても、各授業の内容やカリキュラムについて紹介し、周知している。</p>	
授業計画書の公表方法	刊行物(シラバス・学生要覧)にて公表
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成果の評価及び単位認定については、各授業で定めた評価方法で行っている。それぞれの授業形態によって前後期の期末テストの結果や成果物、またレポート提出などで評価し、単位認定を行っている。また課題のある学生には教務部より個別指導や担任との面談などで、対応を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については、成績を総合的に点数化する『指数』を用いて数値に置きかえた評価を行ってきた。その算出方法は各科目の4段階評価(優・良・可・不可)を(3・2・1・0)で数値化。さらに実習系科目はその数値に単位数をかけて算出し、その合計を指数としている。学年ごとに指数による順位付けを行うことにより、成績の分布状況の把握が可能となっている。</p> <p>また成績評価に関する規程は、在校生全員に配布する学生要覧にて確認することができるようにしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.kasd.ac.jp/shien/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>京都建築大学校では、所定の期間在学し学則に定めた授業科目を履修し、「即戦力として社会に通用する人材の育成」の教育理念のもと下記の三点を基準に卒業認定を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築に関する実学に根差した専門技術・教養が身についている ・ 実社会で必要とされる人間力やコミュニケーション能力が備わっている ・ 建築士をはじめ業界内の各種試験に挑戦する意欲がある <p>また卒業認定には卒業認定会議を行い、複数の教員で合議し適切に実施をしている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.kasd.ac.jp/shien/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	〈専〉 京都建築大学校
設置者名	学校法人 二本松学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/img/nihonmatsu/30_financial01.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/img/nihonmatsu/30_financial01.pdf
財産目録	https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/img/nihonmatsu/30_financial01.pdf
事業報告書	https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/img/nihonmatsu/30_financial01.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/img/nihonmatsu/30_financial01.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間/単位	900 単位時間 /単位	150 単位時間 /単位	1,080 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2130 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
720人		979人	0人	32人	16人	48人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）シラバスの作成については、前年度末より各科目の主担当の教員が原案を作り、教務部内で審査し作成している。公表は年度始めに行う。年2回行われる教育課程編成委員会でも業界に精通している委員を交えて見直しを行っている。開講している授業科目については、そのシラバスにて授業形態（講義・実習など）、到達目標、各回の授業内容、成績評価の方法などをまとめて刊行物の形で公表している。またシラバスとは別に、学科ごとに年度始めに学生全員に配布する学生要覧においても、各授業の内容やカリキュラムについて紹介し、周知している。
成績評価の基準・方法
（概要）成績評価については、成績を総合的に点数化する『指数』を用いて数値に置きかえた評価を行ってきた。その算出方法は各科目の4段階評価（優・良・可・不可）を（3・2・1・0）で数値化。さらに実習系科目はその数値に単位数をかけて算出し、その合計を指数としている。学年ごとに指数による順位付けを行うことにより、成績の分布状況の把握が可能となっている。

また成績評価に関する規程は、在校生全員に配布する学生要覧にて確認することができるようにしている。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 京都建築大学校では、所定の期間在学し学則に定めた授業科目を履修し、「即戦力として社会に通用する人材の育成」の教育理念のもと下記の三点を基準に卒業認定を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築に関する実学に根差した専門技術・教養が身についている ・ 実社会で必要とされる人間力やコミュニケーション能力が備わっている ・ 建築士をはじめ業界内の各種試験に挑戦する意欲がある <p>また卒業認定には卒業認定会議を行い、複数の教員で合議し適切に実施をしている。</p>
学修支援等
<p>(概要) クラス担任制を敷き、学業や生活面で指導をしやすい環境を整えている。また担任と保護者の連携指導にも努めている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
436人 (100%)	387人 (88.8%)	27人 (6.2%)	22人 (5.0%)
(主な就職、業界等) 総合建設業、住宅メーカー、リフォーム会社、工務店、設計事務所、設備会社、積算会社、デザイン事務所、測量会社、不動産業界、インテリア業界ディスプレイ業界			
(就職指導内容) 就職ガイダンス実施（一般試験対策：企業研究の仕方：履歴書、エントリーシート対策：ポートフォリオ対策） 校内会社説明会実施、個人カルテによる個別指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2級建築施工管理技士、インテリア設計士、福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
931人	42人	4.5%
(中途退学の主な理由) 疾病や経済面などやむを得ない理由が多くを占めている		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学期ごとの出欠状況を保護者へ通達している。また担任は相談の窓口としての役割もあり、必要に応じて面談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3420 単位時間/単位	1740 単位時間 /単位	780 単位時間 /単位	2100 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			4620 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
400人	188人	0人	10人	10人	20人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) シラバスの作成については、前年度末より各科目の主担当の教員が原案を作り、教務部内で審査し作成している。公表は年度始めに行う。年2回行われる教育課程編成委員会でも業界に精通している委員を交えて見直しを行っている。開講している授業科目については、そのシラバスにて授業形態(講義・実習など)、到達目標、各回の授業内容、成績評価の方法などをまとめて刊行物の形で公表している。またシラバスとは別に、学科ごとに年度始めに学生全員に配布する学生要覧においても、各授業の内容やカリキュラムについて紹介し、周知している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 成績評価については、成績を総合的に点数化する『指数』を用いて数値に置きかえた評価を行ってきた。その算出方法は各科目の4段階評価(優・良・可・不可)を(3・2・1・0)で数値化。さらに実習系科目はその数値に単位数をかけて算出し、その合計を指数としている。学年ごとに指数による順位付けを行うことにより、成績の分布状況の把握が可能となっている。</p> <p>また成績評価に関する規程は、在校生全員に配布する学生要覧にて確認することができるようにしている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 京都建築大学校では、所定の期間在学し学則に定めた授業科目を履修し、「即戦力として社会に通用する人材の育成」の教育理念のもと下記の三点を基準に卒業認定を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築に関する実学に根差した専門技術・教養が身につけている ・実社会で必要とされる人間力やコミュニケーション能力が備わっている ・建築士をはじめ業界内の各種試験に挑戦する意欲がある <p>また卒業認定には卒業認定会議を行い、複数の教員で合議し適切に実施をしている。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任制を敷き、学業や生活面で指導をしやすい環境を整えている。</p> <p>また担任と保護者の連携指導にも努めている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
96人 (100%)	0人 (0%)	90人 (93.8%)	6人 (6.2%)

(主な就職、業界等) 総合建設業、住宅メーカー、リフォーム会社、工務店、設計事務所、設備会社、積算会社、デザイン事務所、測量会社、不動産業界、インテリア業界ディスプレイ業界
(就職指導内容) 就職ガイダンス実施 (一般試験対策: 企業研究の仕方: 履歴書、エントリーシート対策: ポートフォリオ対策) 校内会社説明会実施、個人カルテによる個別指導
(主な学修成果 (資格・検定等)) 二級建築士、木造建築士、インテリアプランナー
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
197人	6人	3.0%
(中途退学の主な理由) 疾病や経済面などやむを得ない理由が多くを占めている		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学期ごとの出欠状況を保護者へ通達している。また担任は相談の窓口としての役割もあり、必要に応じて面談を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
建築科	100,000 円	1,080,000 円	円	
建築学科	100,000 円	1,180,000 円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
KASD 奨学金制度として、合格者及び在校生が利用できる金融機関と連携した学資ローンを用意している。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校運営について行った自己評価を外部の客観的な立場から再評価し、改善に向け専門的な助言を行うものである。学校関係者評価委員会は、学生が就職する企業、卒業生、保護者、教育関係者等から選定し、公平で中立的な評価を行うよう

配慮している。年2回委員会を開催。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
京都府専修学校各種学校協会 前副会長、京都建築大学校 初代校長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	業界団体元役職員
放送大学 京都学習センター	平成31年4月1日～令和2年3月31日	学術機関有識者
株式会社 くまのすみか	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
一般社団法人 日本インテリア設計士協会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	業界団体役職員
京都建築大学校 卒業生の母	平成31年4月1日～令和2年3月31日	卒業生父兄
伏木道雄建築設計事務所	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
アサダデザイン事務所	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
一級建築士事務所 熊谷建築設計室	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kasd.ac.jp/
--